

## 『創造都市を創造する』

### 3 2. 創造都市シンポジウム『対話が生み出す創造都市』

【テーマ】対話が生み出す創造都市～『CAFE——創造都市・大阪への序曲』出版を記念して

【日時】2006年11月2日（木）18：30～21：00

【会場】應典院本堂ホール・2階気づきの広場（大阪市天王寺区下寺町1-1-27）

#### 【プログラム】

■開会挨拶（18:30）

■第1部 シンポジウム「都市と対話」（本堂ホールにて）（18:40）

ゲスト 平田オリザ（劇作家／演出家／大阪大学コミュニケーション・デザインセンター教授）

佐藤友美子（サントリ一次世代研究所 部長）

秋田光彦（應典院／大蓮寺 住職）

コーディネーター 佐々木雅幸（大阪市大大学院 創造都市研究科長・教授）

■『CAFE』執筆者紹介（19:45）

■第2部 クリエイティブ・カフェ（20:00、気づきの広場にて）

■閉会（21:00）

【主催】大阪市立大学大学院創造都市研究科重点研究「創造都市を創造する」／クリエイティブ・カフェ事務局／應典院寺町倶楽部

【趣旨】かつて大阪は近世において、世界に先駆けて堂島に米取引の先物市場システムを生み出し、文楽に代表される洗練された上方文化を育んだ創造的な大都市であり、明治維新以降の近代化の過程においても日本一の産業都市、金融・商業・流通の全国センターであった。その担い手は商人と町衆であり、お上ではなかったのである。つまり、大阪は「町衆による早すぎた創造都市」であったとも言えよう。

近年、大阪はまさに瀕死の重病人のような状態であり、「創造都市」とは対極に立っているが、この現状を手をこまぬいて見ているだけでなく、自らの手で再び「創造都市」に変えようと多くの市民が活動を展開している。

ただし、これらの活動が“点”のまま存在するなら、都市を変容させることは不可能であろう。他者との対話を積極的に積み重ね、差異から来る豊かさの発見によって公共性が生み出され、都市は形づくられていくのではないだろうか。

「創造の渦」を巻き起こし、都市を変容させていくための「対話の場」として、本企画を実施する。